

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 平岡 夏実

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受けて、2017年2月26日～3月10日の約2週間、オーストラリアのニューサウスウェールズ州にあるキングスクリフを訪問したので報告致します。滞在中はホームステイをしながら語学学校であるノースコーストTAFEキングスクリフ校に通い、英語を学び、2ヵ所の薬局を訪問しました。

2. 語学学校

ゴールドコースト空港からバスで約20分の所にあるTAFEという専門学校で英語や薬学について学びました。TAFEは大学とは違い、実践的なことを身に付けることができる場所であるので、美容コースの教室にヘッドマネキンがあったり、車のエンジニアコースのエリアには車が何台も置いてあったりと、いくつもの専門学校が一つの場所に集まっているような所でした。授業は大学から行った8人の仲間と一緒に受け、午前中にオーストラリアの地理や気候、動物、先住民のアボリジニー、日常会話、薬学英語などをゲームやグループワークを通して英語で学び、午後はオーストラリアの薬学事情について学びました。時には、先生と、オーストラリアと日本の違いなどについて、意見交換しました。最終日には違うクラスの留学生と話す機会があり、それぞれの国の特徴や、好きなものや場所などを知ることができました。



Figure 1 語学学校 (TAFE)

3. 薬局訪問

2つの薬局を訪問しました。2カ所とも置いてあるものや中の様子はほぼ同じでしたが、広さが異なり、1ヶ所は小さめで、もう1ヶ所はその約2倍の広さでした。オーストラリアにはファーマシーアシスタントと呼ばれる人がおり、ファーマシーアシスタントは薬剤師の下に置かれていて、薬の在庫管理や患者の情報管理、支払いの受付や電話対応などの事務、調剤、患者への服薬指導から投薬まで

様々な仕事を行います。一方、薬剤師は基本的には調剤室の中において、患者へ投薬する前に薬の確認を行ったり、患者から質問されたときには答えたりします。ファーマシーアシスタントは一店舗に6人ぐらいいるので、薬剤師が窓口に出て処方することはあまりなく、仕事内容は少ないそうです。また、オーストラリアでは原則、薬を箱ごと処方するので箱に服用方法などが書かれたラベルを貼り、それをそのまま患者に渡します。毎回薬歴を作成することがなく、必要と判断された時だけ作成します。この点、日本と比べると薬を箱から取り出し、薬袋に入れる手間や薬歴を書く時間が省かれるので、一人の患者にかかる時間は短くなります。処方箋はリピート処方箋と呼ばれるものがあり、これは一枚の処方箋で何回か繰り返し使えます。病院に行かなくてもこのリピート処方箋を薬局に持っていけば同じ薬を処方してくれます。リピート回数は医師が決め、その回数だけ繰り返し使用できます。これより、オーストラリアでは、病院などの医療機関に行く回数よりも薬局に行く回数のほうが多いと言います。



Figure 2 薬局 1



Figure 3 薬局 2

4. ホームステイ

滞在中はホームステイをしながら語学学校に通っていました。ホームステイ先は語学学校も海もスーパーも近く、とても便利な場所でした。ホストファミリーは4人家族でホストファザーとホストマザー、9歳と7歳の女の子がいました。会った初日にはファザーと子供たちが車で家の周りを案内してくれて、近くのスーパーや美味しいお店を教えてくださいました。ある日には、ナイトマーケットといって、日本でいう夏祭りみたいに屋台などが並んでいるところに連れて行ってきて、そこでマザーの友達に会ったり、その近くに住んでいる日本人の方に会ったりしました。海は家から歩いて10分ぐらいのところであり、サーフィンをしている人が多く、朝から泳いでいる人もたくさんいました。オーストラリアは紫外線がきつく、しっかりと日焼け止めをしないと少し外を歩いただけで日焼けするので、外に出る時は日焼け止めと帽子、サングラスを持って行っていました。夜ご飯はファザーが作ってくれることが多く、トマトソースを使った料理が多くてどれもおいしかったです。ある時は、私がチャーハンを作ったり、マザーのお母さんが来た時には手巻き寿司を作ったりしてパーティーをしました。どちらもおいしいと言って喜んでくれました。9歳と7歳の女の子は日ごろから習い事をたくさんしていて、朝からピアノの練習を頑張っていたり、休みの日にはスイミングスクールに行ったりと、2人とも元気で活発な子でした。大会で優勝したトロフィーを見せてくれたり、滞在中にちょうどピアノの発表会があり、一緒に連れて行ってもらったりしました。ホストファミリーはみんな明るくてとても優しく、私が英語を理解できていないときにはゆっくりと話してくれて、何回も説明してくれました。この家にホームステイできてとても良かったです。



Figure 4 ナイトマーケット



Figure 5 ホストファミリーと

5. 最後に

私は今回が初めての留学で、行く前は少し不安もあったのですが、オーストラリアの方々がみんな温かく迎えてくれたので、約2週間楽しく過ごすことができました。また、学校の先生は私たちのために毎回違う楽しい授業を考えてくれたので、英語を学ぶのが楽しく、短い間でしたがオーストラリアのことについてたくさん知ることができました。そして、私を迎え入れてくれたホストファミリーのおかげで毎日楽しく過ごせ、会話やゲームをしたり、散歩したりすることで、いろんな事や場所を知ることができました。日本以外の国で過ごしてみると、これは日本と同じでここは違うのかという新しい発見がたくさんありました。例えば、同じ点は、車は左側通行、家の中では靴を脱ぐなどで、異なる点は、お店が閉まるのが早い（18時～19時あたり）、信号が縦向き、車の教習所がない、海に行く人が多い等々たくさんあります。これらは私が過ごした地域での比較であり、オーストラリアの他の地域や家庭ではどうなのかは分かりませんが、違いを見つけながら生活するのも面白かったです。

今回の留学で自分の英語力を知り、課題を見つけることができました。言いたいことを英語で上手く伝えられず悔しい思いもたくさんしたので、これからも少しずつ英語の勉強を続けていこうと思います。そして、この留学で得た貴重な経験を活かして、残りの学生生活を将来に向けて頑張っていこうと思います。

